



つじ 隆一 市議員 議会活動報告

社民フォーラム市議団

(TEL 214-8717)
(FAX 711-3453)

宮城野区版

NO. 113

〒983-0826 仙台市宮城野区鶴ヶ谷東2-5-24 TEL251-4064 FAX253-2588

2022. 3. 25 発行 事務所 〒983-0031 仙台市宮城野区小鶴1-1-18-101 TEL・FAX 252-9511 E-mail :fureai@lilac.plala.or.jp

アフターコロナを見据え 「新たなまちづくりの ステージ」へ

―第1回定例会市議会で郡市長が所信表明―

令和4年第1回定例会市議会は2月8日から3月14日まで開かれ、一般会計予算や条例改正案など79件の議案審査が行われました。

冒頭、郡市長が令和4年度の施政方針について表明を行いました。市長は「震災から10年を経過する中、本市は豊かな自然や歴史、文化をはじめ

めとする都市個性に加え、防災力に磨きをかけ、世界を視野に、新たなまちづくりのステージへの扉を開いた」ことを基調に掲げました。

主な施策として、東部沿岸エリアではみどりの再生や賑わいの創出、青葉山エリアでは大手門復元などの仙台城址の整備、音楽ホールと中心部

ティ構想の推進などを掲げました。

「人の活躍こそがまちを育む」という考えの下、市民が活躍できる環境づくりや孤立や貧困、引きこもりなど困難を抱える方々への支援などに取り組む決意を示しました。

また、G7関係閣僚会合の誘致など、国や県、東北の各自治体との連携を一層強固にしていく考えも示しました。

その上で、「世界に誇る魅力と活力を生み出すまちづくり」「多様な視点から一人ひとりの活躍を支えるまちづくり」を新年度の施策の柱に掲げました。

過去最大の当初予算で 新型コロナ対策など

震災メモリアル拠点の複合化、東北大学との連携によるスーパージ

一般会計は、コロナ禍におけるフクチン接種費や医療提供体制にかかる国庫支出金の大幅増もあり、また、緩やかな景気回復が見込まれ法人市民税、固定資産税の増加などで対

前年比2.9%増の約

◆国際女性デー◆
3月18日の「国際女性デー」に連帯して、社民フォーラム市議団は女性に感謝と敬意を表す象徴としての「ミモザの花」を胸につけて議場に臨みました。



3年間で969億円の財源不足が見込まれています。

小学校4年まで35人以下学級を拡大

条例改正案では、新型コロナ感染症対策のための保健所職員、35人以下学級を小学4年生まで拡大するための教職員等144人を増員するための職員定数条例の改正案、交通指導隊員の委嘱年齢を18歳に引き下げる条例改正案、地下鉄五橋駅に自転車等駐車場の整備、市交通局の事業から貸切バス事業を廃止するもの、

本会議で一般質問を行うつじ議員(2/18)



《第1回定例市議会可決の新型コロナ対策予算》

令和4年度当初予算 総額 205 億円

◆検査・医療提供体制の強化 (単位は千円)	
○ワクチン接種	12,657,540
○保健所における感染症対策 (総額 2,850,930)	
・コールセンター運営	180,000
・看護師配置	144,540
・感染症患者移送	492,480
・ドライブスルー検査場設置負担金	19,150
・ドライブスルー検査場運営	498,060
・保険適用PCR検査等自己負担分給付	396,920
・帰国者・接触者外来助成	8,600
・高齢者施設等検査	450,000
・検体搬送	28,660
・検査用試薬・防護衣等導入	119,890
・変異株検査	23,760
・感染症入院患者医療費負担診療報酬	130,980
・宿泊療養施設運営	292,730
・自宅療養者生活支援	34,140
・その他	31,020
○発熱患者の医療の確保	211,380
○感染症対応に係る事後検証	3,730
◆感染予防対策等の推進	
・濃厚接触となった高齢者向け緊急短期入所	2,170
・障害者福祉事業所等サービス継続支援	6,740
・障害者支援施設等の感染防止対策	4,960
・妊産婦への出産前検査と寄り添い支援	57,330
・子育て関連施設等の衛生管理体制確保	334,220
・鶴谷特別支援学校スクールバス増便	32,830
・市立学校(園)の感染症対策	116,000
・スクール・サポート・スタッフの配置	98,940
◆コロナ後の消費喚起	
・商店街等買い回り促進キャンペーン	1,385,100
・宿泊促進キャンペーン	396,000
《令和3年度補正予算での対応》	
○障害福祉分野のICT導入モデル事業	40,570
○障害者施設自主製品販売促進事業費助成	10,000
○中小企業等事業復活支援給付金事業費	564,000

市立病院に腎臓内科を新設するための改正案が上程されました。

また、イブミティ21の大規模改修に関する件、19年の台風での市道の法面崩落によるマンシヨン損傷にかかる損害賠償の件、宮城野区障害者福祉センター、健康増進センター、文学館、青年文化センター、メディアテーク等の指定管理者の指定に関する件も提案されました。人事案件では高橋副市長の再任、監査委員、人事委員会委員の任命

の他、土地利用審査会の委員の任命、公安委員及び人権擁護委員の推薦に関する件が上程されました。

補正予算で新型コロナ感染症対策拡充

令和3年度一般会計補正予算では、新型コロナ感染症対策関連(別途掲載)、引越

しワンストップサービス対応の住民情報システム運用、保育士、放課後児童支援員等の処遇改善のための補助金、道路、橋梁、公園等の事業費の追加、教育情報ネットワーク

経費や原料価格高騰に対応した小中学校の運営管理費などが計上されました。

追加補正で中小事業者への事業継続等支援

新型コロナの影響で売上が大きく減少した中小事業者の事業継続等の支援のため、国

の「事業復活支援金」の受給者に上乗せしての「中小企業等事業復活支援給付金」(約3年間の減少率50%以上、個人5万円、法人10~25万円)を支給することが提案されました。また、昨年末に支給決

定した子育て世帯等への臨時特別給付金(児童手当支給者1人10万円)について、昨年9月以降に離婚や別居中などで支給が届かなかった支給対象者への支給についても提案

つじ議員が本会議で一般質問(2/18)

蒲生干潟の保全等

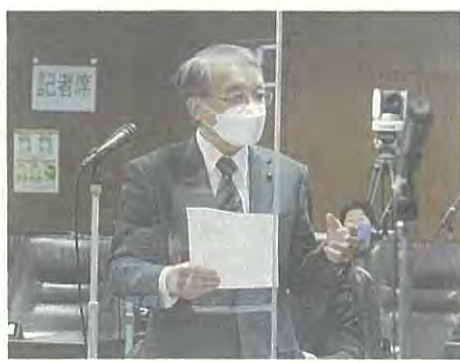
まず、蒲生干潟の保全と蒲生北部地区のまちづくり、東部沿岸エリアの活性化との関連について質したのに対し、「貴重な動植物の生息地として、未来へと継承すべき自然環境を有しており、多くの皆様

されました。ウクライナ軍事侵攻に抗議の市議会決議「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対する抗議に関する件」

バスターミナルの整備

「干潟、日和山といった豊かな自然や貞山堀跡をはじめとした歴史的資源、東日本大震災の記憶を語り伝えるなかの伝承の丘などの様々な魅力があり、東部沿岸エリアの各地区の魅力をつなぎ、持続的な賑わいづくりを進めていく」などと答えました。

る地域づくりに努めていく」



予算等審査特別委員会で質疑

高速バス乗り場が仙台駅の東西に分散しており、バスターミナルの整備を求めたのに対して、「バス停集約化やバス待ち環境の整備、バス待機場所の確保などが求められている。バスタプロジェクトは、高速バスのバス停の集約による広域交通の結節機能強化などを目的として国が全国的に展開しているもので、交流人口の拡大や新たなまちの

魅力、活力の創出等につながるよう取り組んでいく」と答えました。

中心部震災メモリアル施設

青葉山エリアに音楽ホールと複合整備される震災メモリアル施設について、市民の防災学習機能との関連を質したのに対しては、「これまでの災害の経験や教訓を生かし、気候変動リスクや未知の感染症などにも対応できる、仙台

令和4年度主要施策

◆「世界に誇る魅力と活力を生み出すまちづくり

- 次世代放射光施設等関連産業振興
- ICT活用の新事業創出
- スマートシティの実現
- ドローンを活用したスマート農業の推進
- 新規就農者や事業継承者の経営力の向上
- 新たな交流人口ビジネス活性化戦略
- オンライン観光やデジタルマーケティングの推進
- G7関係閣僚会合の誘致
- MISE開催の推進
- 「(仮称)仙台市文化芸術

ならではの『災害文化』の創造を担う拠点整備を目指す」という考えを示しました。

その他、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策について、世田谷区のような抗原定性検査キットを市民や高齢者、障害者施設等への配布、小中学校の部活動の一斉休止や時差・分散登校、オンライン学習の取り組み、ワクチン接種の問題などを取り上げました。

推進基本計画」の策定

- 全国都市緑化仙台フェア開催準備



予算・市政への会派要望への当局回答(1/25)

▼予算特別委の主な質疑項目

- 製品プラスチック一括回収・リサイクルの総量の見積もりとリサイクル方法
- 市指定ごみ袋のバイオマスプラスチックへの転換
- 海洋プラスチックごみ対策
- せんだい文学マップの活用
- 文学を観光のコンテンツに
- 青葉山エリア整備に文学を
- 魯迅下宿跡の記念公園整備
- 製品プラスチックの一括回収・リサイクル
- ガス事業民営化
- 「(仮称)青葉山エリア文化観光交流ビジョン」策定
- 仙台駅西口青葉通社会実験

◆多様な視点から一人ひとりの活躍を支えるまちづくり

- 新型コロナウイルス感染症対策
- 新生児誕生祝福事業
- 若年層の戸建住宅取得助成
- 子ども医療費助成の所得制限の撤廃
- 新生児の聴覚検査費用助成
- 産後ケア事業
- 保育施設一歳児受入枠拡充
- 権利を擁護する「子どもアドボケイト」の派遣
- GIGAスクール構想推進

宮城野区の主要事業

- ・福田町駅移転関連道路整備
- ・海浜エリア活性化
- ・みやぎの地域づくり支援
- ・道路・農業施設の浸水対策
- ・鶴ヶ谷第二市営住宅団地再整備
- ・都市計画道路整備(元寺小路福室線一五輪)
- ・橋梁維持補修(宮城野大橋等)
- ・公園整備(高砂中央公園等)
- ・校舎改築等(宮城野中増改築、福室小設計)
- ・特別養護老人ホーム建設補助(中野中地区)
- ・区民協働まちづくり
- ・コミュニティC大規模修繕(原町、岡田=設計)

青葉山エリアの視察(2/14)



プロジェクト」開始

- 定禅寺の再整備
- 市役所新本庁舎実施設計
- 東部エリアの活性化、回遊性向上、貞山運河の利活用
- 泉区役所の建て替え、泉中央エリアの再整備
- 全学校へICT支援員配置
- 小学4年生への三五人以下学級の拡充
- 夜間中学校開設準備
- 在籍学級外教室「ステーション」の設置校拡充
- ヤングケアラー支援
- ひとり親家庭等支援
- 「(仮称)女性・若者活躍推進会議」の開催
- 「(仮称)町内会応援アップ
- 4病院の再編への対応
- 公共交通活性化等推進
- 地域交通支援拡充
- ◆市役所経営
- 市役所業務デジタル化推進
- 公共施設マネジメント推進
- 公民連携の推進

コロナ禍でも健闘

『のりあい・つばめ』の 本格運行1年目

燕沢地区の地域交通『のりあい・つばめ』は令和3年4月から本格運行が始まってちょうど1年が経過しました。

1日当たりの平均乗客数は、4～9月（前期1日8便）は31・2人（目標40人）、10～2月（後期6便）は30・1人（目標30）で、後半は目標を上回っています。地区社会福祉協議会におけるサロン活動でのヒアリング、3月にオープン病院の協力による「健康講座」による利用促進活動も中止に追い込まれるなどコロナ禍で苦戦を強いられましたが、まずまずの運航成果だったと言えます。経費も地域の病院や商業施設等の協賛金等もあり、少々の赤字決算の見込みですが、町内会地区社協による回数券購入などで補完して収支のバランスをいかにとっています。



燕沢乗合タクシー運営協議会 (3/7)

燕沢地区の地域交通『のりあい・つばめ』は令和3年4月から本格運行が始まってちょうど1年が経過しました。

また、利用促進へ商業施設等でのクーポン券発行などを予定し、当面、回数券購入者には、運行を担当する高砂タクシー様の割引クーポン券を発行することとし、運賃が300円となる一般利用者の回数券は4枚をプレミアムで割増するなどのサービス向上にも取り組んでいくこととなりました。

つじ隆一の活動日誌

- 1. 9 燕沢学区新年顔合わせ会
- 1.12 第6回燕沢乗合タクシー運営協議会
- 1.13 町内会活動に関する意見交換
- 1.18 燕沢地区社協三役会議
- 1.21 都市整備建設委員会
- 1.24 文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会
- 1.25 市議団「市政・予算要望」への当局回答
- 1.28 第1回定例会市議会議案説明
- 2. 1 宮城野区社協による燕沢地区社協の活動振り返り等聞き取り調査
- 2. 2 蒲生干潟保全・蒲生北部のまちづくりに関する調査、地元の方々の意見聴取
- 2. 6 政策交流集会
- 2. 7 第7回燕沢乗合タクシー運営協議会
- 2. 8 令和4年第1回定例会市議会開会
- 2.14 青葉山エリア現地調査
- 2.15 本会議（～21日）
- 2.18 本会議で一般質問
- 2.22 都市整備建設委員会
- 2.24 市議会予算等審査特別委員会（～3月10日）
- 2.26 ソキウスせんだい理事会
- 3. 7 第8回燕沢乗合タクシー運営協議会
- 3.11 東日本大震災犠牲者追悼式
- 3.14 令和4年第1回定例会市議会閉会
- 3.16 宮城野区社協地区社協会長会議
- 3.17 文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会
- 3.18 「のりあい・つばめ」新年度運行準備作業
- 3.19 ふるさとの杜再生プロジェクト植樹会（貞山運河）
- 3.23 市議会タブレット活用フォローアップ研修
- 3.26 さようなら原発宮城県民集会
- 3.27 菖蒲沢町内会定期総会（書面議決）



◆公共交通内の痴漢
防止策を申し入れ
1月13日、市議団で受験シースンを前にして、市交通局に「公共交通内における痴漢等の未然防止・抑止に関する要望書」を提出し、啓発など対策・対応を図ることにつながりました。



◆蒲生干潟保主 等て意見交換

2月2日、蒲生干潟の保主や蒲生北部のまちづくりに関して「蒲生を守る会」と「蒲生のまちづくりを考える会」の皆さんより現状と課題等を伺い、本会議で取り上げました。



◆宮城野区春闘
労働講座を開催
3月9日、宮城野区護憲平和センター主催の「春闘労働講座」が宮城野区中央市民センターで開催され、「月刊労働組合」の元編集長松上氏のリモート講演による問題提起を受けました。